

●養蚕

アッププラン目標値

収量アップを前提とした飼育管理と繭品質アップによる優良繭の増産による所得確保

	春蚕期	夏蚕期	初秋蚕期	晩秋蚕期	晩々秋蚕期
対箱収繭量(1箱)	70.0kg	63.0kg	62.0kg	63.0kg	65.0kg
1kg単価(税抜)	2,400円	2,400円	2,380円	2,350円	2,420円
販売額(税別)	16.8万円	15.1万円	14.8万円	14.8万円	15.7万円

◎良質繭生産による単価確保 ※出荷者各自が上族管理の徹底・自家選繭、共同選繭に実施

(1)生産・販売の状況

①提携事業における各地区の蚕品種(蚕種製造所:伊達市、富田蚕種) 各地区の生産状況

地区	部会員	主な蚕期の品種
福島	11名	春品種 春嶺×鐘月 夏蚕以降 錦秋×鐘和
伊達	4名	春品種 春嶺×鐘月 夏蚕以降 錦秋×鐘和
安達	23名	春品種 春嶺×鐘月 夏蚕以降 錦秋×鐘和 及び松岡姫

重点取組事項

- ◎箱収量の増加 →優良蚕品種の検討、飼育管理、遺失蚕発生防除・良桑の給餌・飽食・桑園の病害虫防除の徹底。
飼育環境の整備:蚕室・蚕具類の徹底消毒 蚕室の洗浄剤・消石灰70・または、ホルマリンの使用
- ◎繭品質向上 →上族管理の徹底:適性温度、湿度の保持、吐糸営繭後は、室内の痛風、乾燥を図る。
→繭の出荷・管理:自家選繭の徹底・共同選繭の実施
→繭品質評価の実施:生産される繭の品質状況の把握(現在は、安達地区のみ実施)
- ◎多回育の推進 →桑の生育・桑質に応じて:飼育回数増を促すことにより、労働力の分散、飼育箱数の増掃き・まゆの増産=増収
- ◎良品質外繭の抑制 →基本的養蚕飼育技術の推進指導の徹底:蚕期毎、配蚕後適正桑付け時期の指導確認
→各齢期の桑止め時期、石灰の使用時期・使用量等の基本指導及び桑付適期指導確認・巡回指導の徹底
→適期上族:若びかし(不揃い蚕飼育が要因)防止、上族管理、適期集繭、出荷
→自己の繭品質状況の確認、(選除繭歩合・解じょ率・生糸量歩合)

◎繭品質評価:安達地区に於いて実施(福島地区・伊達地区は、繭単価/固定価格2,010円(税抜))% 円(税抜)

項目	福島	伊達	安達	目標値	※
					円(税抜)
選除繭歩合	現状平均	%	%	1.03	1.03
	連絡協議会目標	%	%	0.5	0.3
	最高品質評価農家	%	%	0.95	0.95
解除率	現状平均	%	%	86.1	86.1
	連絡協議会目標	%	%	88.0	88.0
	最高品質評価農家	%	%	86.1	86.1
選除繭歩合	現状平均	%	%	19.51	19.51
	連絡協議会目標	%	%	21.00	21.00
	最高品質評価農家	%	%	20.16	20.16

※H28年度安達地区最高品質評価単価(参考)

※現状平均から部会目標を達成する現行生産基準の重点取組事項

- ・繭単価の統一、単価の底上げにも現状の単価設定の見直し
- ・提携事業の取組みの検討、グループの再編による繭生産の実施

※繭品質5A格率実現農家に近づく現行生産基準の重点取組事項

- ・飼育中の遺失蚕の発生を防ぐ、外からの硬化病菌・ウイルス菌の侵入防止
- ・繭品質評価の向上取組は、繭単価の高値を意味する、部会全体で高単価取得は所得アップに繋がる

年間平均単価 福島地区:2,010円×8%(年間平均単価)=2,170.8円(税込)
安達地区:繭品質評価に基づく 伊達地区:2,010円×8%+晩秋蚕期2,300×8(年間平均単価)=2,268(税込)※晩秋蚕期は、2,300円)
安達地区:2,402円×8%(年間平均単価)=2,594.2円(税込)

③平成29年度からの大日本蚕糸会助成事業

- ◇蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業:繭代金補填事業(繭代助成1kg/@1250円)
提携グループへの支援継続(繭1kg/@1,250円)
- ◇蚕糸絹文化活性化推進事業:稚蚕安定供給事業・養蚕技術指導事業・新規養蚕参入者養蚕
稚蚕飼育事業の継続 1~3齢 7000円/箱 1~2齢 3500円/箱
- ◇の二つの事業を整理・統合する。
・飼育技術指導事業
・繭生産緊急体制強化事業:新規養蚕参入者支援事業・繭増産支援事業(養蚕ヘルパー雇用助成)
ヘルパー対象人員の変更 現行1箱以上の増掃が、3箱以上となった。
・条件整備事業(ハード事業):養蚕関係支援事業
事業実施主体 個人 2/3以内 会社・法人等その他 2/1
補助限度額(補助金) 上限5,000千円 下限300千円
以上、国・大日本蚕糸会から示される事業を有効に利用し増産・増収し所得の向上を目指す。
※また、平成30年度から提携グループの見直し再編が進められる、JAふくしま未来の養蚕部会では、大きく3つの提携グループがあり、福島・伊達地区と安達地区では繭の単価設定・1kg/@単価に大きな違いがある。
福島・伊達地区の繭の単価設定を繭品質評価制に変えて行く事で所得のアップが望める。